

北海道新聞 2013 年 3 月 5 日号

## 蘭越・チセヌプリスキー場休止問題

# 「存続を」町へ署名7600人分

【蘭越】町がチセヌプリ（標高1113  
4㍎）スキー場の今季限りでの休止を検  
討している問題で、存続を求める署名活  
動を行っているプロスキーガイドの市村  
剛志さん（49）＝札幌市＝が4日、役場を  
訪れ、約7600人分の署名を宮谷内留  
雄町長に提出した。  
（及川靖）

同スキー場は1967年、愛好者に根強い人  
7年にオープン。原生林に囲まれた自然のゲ  
レンデでは深雪が楽し  
め、愛好者に根強い人  
気がある。だが、利用  
客の低迷に加えて、庄  
雪車の整備やリフトの



プロガイド市村さん

## 全国から賛同

ワイヤ交換に、2013年度から3年間で約1億7千万円の経費がかかるの見込まれ、町は休止を視野に検討委で協議している。

その結果、過去に同スキー場を訪れた全国の愛好者からも署名が殺到。九州や沖縄から郵送された署名もあり、「全国で一番のパウダースノー」「チセヌプリを超えるスキー場はない」などのコメントも寄せられた。

同スキー場でガイドとして16年間活動している市村さんは、年明けから署名集めを開始。同スキー場の管理棟や山麓の温泉「国民宿舎雪秩父」に名簿を置いたり、インターネットの交流サイトを通じたりして署名を呼びかけた。また、スキー関係者らが、札幌市内市村さんと、チセヌプリスキー場の存続を求めて全国から寄せられた7600人分の署名簿

署名簿を提出した市村さんは「自然が残されたスキー場のすばらしさや価値を町が理解して、存続に向けた検討材料にしてほしい」と要望した。町は今後も検討を継続するとしている。